

第1号様式

育英奨学資金貸与願						
ふりがな 氏名 ※男・女	年月日生(満歳)			希望事項	貸与期間 令和年月日から 令和年月日まで	
本籍					※自宅 下宿 学寮	
現住所						
希望学校 学校 又校	高等学校			科	全日制・定時制 通信制	
	高等専門学校			学部	科 昼間・夜間	
	大学			学部	科 昼間・夜間	
所在地						
保護者	氏名			生年月日	年月日(満歳)	
	本籍			職業(無職の場合は前職)		
	現住所			年収(農業の場合は耕作面積)		
家族の状況 別居者には△をつける	続柄	年齢	氏名	職業		
	父	歳				
	母	歳				
	本人	歳				
		歳				
		歳				
		歳				
		歳				
		歳				
×決定番号 令年高・専・大第号				×令和年月日		
備考	県貸費生の有無 (高・専・大決定番号 令和年度号)					

※ 該当事項を○でかこみ×印の欄は記入しないこと。

休、転、退学、身上の異動等も理由を付してもれなく記載すること。

令和 年 月 日 中学校卒業

令和 年 月 日

令和 年 月 日

令和 年 月 日

令和 年 月 日

育英奨学資金の希望理由

与論町育成奨学資金貸与条例に基づく貸費生として御採用のうえ育成奨学資金を貸与して
くださるよう連署してお願いします

令和 年 月 日

本人

(印)

保護者

(印)

与論町教育委員会 殿

記載例

第1号様式

育英奨学資金貸与願						
ふりがな 氏名 ※男・女	よろん ひろと 与論 大翔 平成20年 4月 2日生（満18歳）		希望事項	貸与期間 令和8年4月1日から 令和12年3月31日まで		
本籍	与論町大字麦屋〇〇番地					
現住所	与論町大字茶花〇〇番地		※ <input checked="" type="checkbox"/> 自宅	下宿	学寮	
希望学校 学校 又校	高等学校 高等専門学校 パナウル大学		科 学部 経営学部	全日制・定時制 通信制 昼間・夜間 経営学科 <input checked="" type="checkbox"/> 昼間・夜間		
所在地	東京都〇〇区〇〇町〇〇丁目〇〇番地					
保護者	氏名 与論 太郎		生年月日	昭和50年10月10日（満50歳）		
	本籍 与論町大字麦屋〇〇番地		職業（無職の場合は前職）会社員			
	現住所 与論町大字茶花〇〇番地		年収（農業の場合は耕作面積）〇〇万円			
家族の状況 別居者には△をつける	続柄	年齢	氏名	職業		
	父	50歳	与論 太郎	会社員		
	母	48歳	与論 花子	パート		
	本人	18歳	与論 大翔	高校生		
	△妹	16歳	与論 美	高校生		
		歳				
		歳				
	歳					
	歳					
×決定番号 令 年 高・専・大 第 号				× 令和 年 月 日		
備考	県貸費生の有無（高・専・大 決定番号 令和 年度 号）					県の奨学資金貸付を受ける場合は記

※ 該当事項を○でかこみ×印の欄は記入しないこと。

記載例

休、転、退学、身上の異動等も理由を付してもれなく記載すること。			
令和 5 年 3 月 31 日		与論町立与論 中学校卒業	
令和 年 月 日	令和 年 月 日	これまでの学歴を記入	
令和 年 月 日	令和 年 月 日		
令和 年 月 日	令和 年 月 日		
育英奨学資金の希望理由	私は島外への大学進学を希望しています。両親は共働きではありますが、母親はパートのため収入も少なく、妹も島外の私立高校へ進学し、仕送りが大変です。私が大学へ進学した場合、島外で1人暮らしとなり、家賃や生活費も多くかかります。大学へ進学後は学業の傍らでバイトをし、自分の生活費を足しにしようと考えていますが、それだけでは足りず、親からの仕送りもなかなか期待できない状況です。妹も高校卒業後に大学への進学を考えており、今後も大きな出費が出る予定です。ですので、町の奨学金をいただくこと大学での無理のない生活ができるようになるので、ぜひとも奨学金を貸与していただきますようお願いいたします。		
	奨学資金貸付を希望する理由をできるだけ詳しく記入		
与論町育成奨学資金貸与条例に基づく貸費生として御採用のうえ育成奨学資金を貸与して くださるよう連署してお願いします			
令和 8 年 1 月 20 日		学校へ提出する日付 けで記入	
本人 与論 大翔		印	本人・保護者がそれぞれ自署し、押印
保護者 与論 太郎	印		
与論町教育委員会 殿			